

県内景況、コロナ禍から脱却できない状況続く

前年同月比 DI 値上昇は第1回緊急事態宣言反動増、コロナ禍長期化

～景況 DI 値は、前年同月比13.2ポイント上昇のマイナス13.1～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 5月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比15.7ポイント上昇のプラス5.2。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比0.1ポイント上昇のプラス10.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比10.6ポイント低下のプラス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のプラス5.2。非製造業では、DI 値前月比21.0ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のマイナス15.8。

収益状況 製造業では、DI 値前月比9.5ポイント上昇のマイナス16.8、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス5.2。非製造業では、前月比21.2ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比0.3ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス31.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比10.4ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス10.5。非製造業では、前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス5.2。

景況 製造業では、DI 値前月比15.7ポイント上昇のマイナス10.6、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のマイナス47.3、前年同月比15.7ポイント上昇のマイナス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比2.6ポイント上昇のマイナス28.9、前年同月比13.2ポイント上昇のマイナス13.1となった。製造業の食料品、紙・加工品などの業種ではコロナ禍の影響に加え、原材料が値上げしており、また金属製品関連では、鋼材の値上がりにより需給がひっ迫する状況となっている。非製造業では、首都圏等の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により、旅館・観光関連は予約状況が低迷、大型連休も低調に終わっている。県内景況は、コロナ禍による低迷から脱却できない状況が続いており、前年同月比景況 DI 値は上昇傾向にあるものの、第1回緊急事態宣言の反動増によるものであり、コロナ禍の長期化により先行きは不透明。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

5月の全国倒産は、件数461件で、最初の緊急事態宣言下の反動増、負債総額は1,664億4,700万円（負債総額1,000万円以上）で、大型倒産が発生し、前年同月比134%増加となった。不況型倒産の合計は347件、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は281件となった。

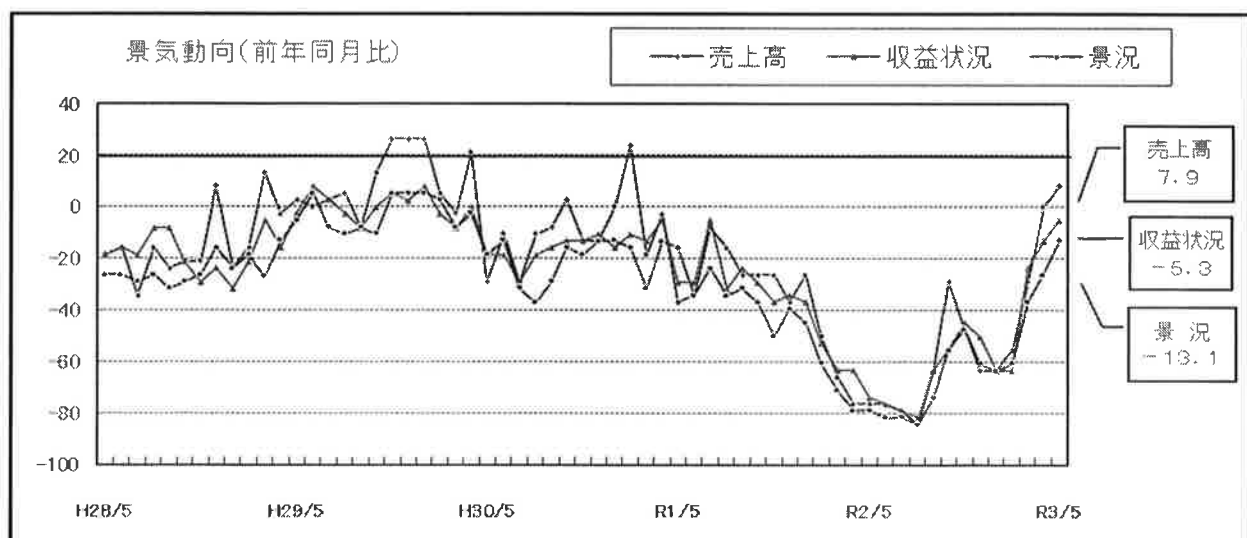
一方、5月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月1件）、負債総額は5億8,100万円（前月3億円）で、業種では、卸売業、卸売業が各1件、主因は全て販売不振となっている。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報4月分」）

鳥取県の4月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.34倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.09倍）で、前月より0.04ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.12倍、米子所1.25倍、倉吉所1.29倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.34倍（季節調整値）で、前月より0.02ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比14.5%増加し、有効求人数は1.5%の増加となった。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（83.6%）、サービス業（28.0%）、宿泊業・飲食サービス業（26.8%）、医療・福祉（10.8%）、製造業（9.2%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.7%増加し、有効求職者数は8.2%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.11倍で、前年同月を0.22ポイント下回った。新規求人数は前年同月を12.3%上回った。



5月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	5.3%	36.8%	-31.5 -5.2	31.6%	42.1%	-10.5 -10.5	18.4%	39.5%	-21.1 -8.0
(2) 在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 -5.3	16.7%	16.7%	0.0 -8.3	16.1%	12.9%	3.2 -6.5
(3) 販売価格	10.5%	0.0%	10.5 -10.6	15.8%	5.3%	10.5 21.0	13.2%	2.6%	10.6 5.3
(4) 取引条件	10.5%	0.0%	10.5 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	5.3%	2.6%	2.7 2.7
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-16.8 9.5	10.5%	52.6%	-42.1 -21.2	7.9%	36.8%	-28.9 -5.2
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 -0.3	0.0%	36.8%	-36.8 -21.0	2.6%	26.3%	-23.7 -18.4
(7) 設備操業度	0.0%	15.8%	-15.8 -10.5						
(8) 雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 -10.4	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	2.6%	10.5%	-7.9 -5.3
(9) 景 況	10.5%	21.1%	-10.6 15.7	5.3%	52.6%	-47.3 -10.5	7.9%	36.8%	-28.9 2.6

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	21.1%	5.2 15.7	47.4%	36.8%	10.6 0.1	36.8%	28.9%	7.9 7.9
(2) 在庫数量	10.5%	0.0%	10.5 -0.1	16.7%	33.3%	-16.6 -8.3	12.9%	12.9%	0.0 -3.3
(3) 販売価格	10.5%	5.3%	5.2 -5.3	10.5%	26.3%	-15.8 0.0	10.5%	15.8%	-5.3 -2.7
(4) 取引条件	10.5%	0.0%	10.5 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	5.3%	5.3%	0.0 0.0
(5) 収益状況	21.1%	26.3%	-5.2 10.6	31.6%	36.8%	-5.2 5.3	26.3%	31.6%	-5.3 7.8
(6) 資金繰り	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	5.3%	36.8%	-31.5 -21.0	2.6%	31.6%	-2.9 10.2
(7) 設備操業度	10.5%	26.3%	-15.8 -5.3						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	10.5 15.8	5.3%	10.5%	5.2 15.8	2.6%	10.5%	-7.9 0.0
(9) 景 況	15.8%	26.3%	-10.5 10.5	15.8%	31.6%	-15.8 15.7	15.8%	28.9%	-13.1 13.2

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア向け業者は好調を維持しており、一部では人手不足感もある。一方、観光向け業者は、従業員の一時帰休を行うなど、依然として厳しい。大豆、卵、油脂の原材料値上げにより価格に転嫁できるか不安。

醤 油⇒ 首都圏の緊急事態宣言が続くなか、業界としては下げ止まりの状態が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、昨年同時期よりコロナ慣れしてきているのか、市場の影響が少なくなっている。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため、自動車用シートの発注数も減少傾向が続いており、いつ通常生産に回復するか不透明感が続いている。

ニット製品⇒ コロナ終息後の状況が不透明。衣料品消費の動向は芳しくなく、転廃業が多発する恐れがある。秋物商品以降の受注動向も不透明。輸入品から国内生産への転換の動きもない。

【家具・装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。リビング関連の高級品も一服感が見られる。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で増加。製材品の生産量は不変。合板の生産量は減少。製材品の供給不足が続いており逼迫感が増している。製材品価格も徐々に値上がりしており、見積りもしづらい状況。プレカット加工の稼働率は、前月比5%増加、前年同月比30%増加。

【紙・加工品】

和 紙⇒ コロナ禍で売上高、設備操業度ともに低調が続いている。波はあるが低調が続くことに慣れてきた感もある。燃料の重油や原料パルプが値上がりし始めていることも懸念している。

【印 刷】

⇒ 官公庁、学校などの印刷物は例年並みであるが、雇用調整をしている関係で稼働率が悪く、例年通りのスケジュールに応えられず失注するケースもある。観光、飲食、広告分野は低調が続いている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 5月の生コン出荷量は、前月比15%減少、前年同月比4%減少。5月は、全体的に新年度事業がまだ発注されていない端境期で、東部・中部では大型物件が少なく、西部では道路関係・防衛省関連・バイオマ

ス発電などの物件があり、活発であったが、全体を押し上げるほどにはならなかった。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、東部・中部は地元物件が少なく、受注競争が厳しくなっている。鋼材が大幅に値上がりしており収益状況も厳しさが増している。機械加工は、雇用調整助成金申請は一部の得意先に減ってきており、全体的には、仕事はほぼ戻ってきているが、鋼材の値上がりが不安要素となっている。世界的な鉄不足により、全ての品種で国際市況の上昇幅が大きく、需給がひっ迫し、国内価格が大幅な値上がりが続けている。

鉄骨加工⇒ 今年に入ってから鋼材の単価上昇は大きなインパクトになっている。各社の収益状況はこれから悪くなると予想される。大型コラムや外法H鋼の納期が4～5ヶ月と伸びているだけでなく、高力ボルトも長いサイズなどが品薄となり納期が3～5ヶ月かかるものも出てきた。

金属熱処理⇒ 5月は稼働日数が少なかった関係で、前月比で受注は下回ったが、前年はコロナ禍の影響で受注量が大きく落ち込んでいたため、前年同月比では増加となった。自動車を中心に回復している傾向にあり、受注状況は概ね持ち直している。ただし、顧客による格差は依然として大きい。

【電気機械器具】

⇒ 状況は回復傾向にあるが部材調達の影響は出ている。リモート関連、バッテリー関係は依然順調に推移しており、車載関係も正常化の傾向が見えてきた。製造業全般に人材不足の兆候が出ている。特に外国人技能実習生等の海外からの入国が制限されているため帰国したマイナス人員の補充はできていないため、回復傾向に影響してくる。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。長梅雨の影響、またコロナ禍によるサービス業、飲食業の低迷が大きい。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。コロナ禍によるサービス業、飲食業の低迷が大きく影響している。

中 部 地 区⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少。コロナ禍により案件そのものが少なくなっている。

西 部 地 区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水 産 物⇒ 巻き網漁は大型連休中の休漁に加え時化も多く、小型イワシ中心の散発的な水揚げとなり低調に推移した。底引き漁はハタハタを中心に豊漁ではあったが、加工筋の買い付けが弱く比較的安価となった。旬を迎えるイサキ・アジの水揚げも少なく今一つ精彩を欠く状況。紅ズワイガニは

漁期終盤に近くなりワクチン効果期待による秋口から需要に向かって昨年同期に比べ大きく浜値段が高騰している。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、5月下旬まで続伸する展開が続いたが、一方で高値警戒感が強まり、一部で値下がりする動きが出た。古紙市況は前月と同じく安値安定のまま。非鉄市況は、銅、アルミ、ステンレスともに高値が続いた。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、大型連休は、緊急事態宣言により観光客が例年より少なかった。飲食店は大型連休中もそれ以降も厳しい状況は続いている。特に夜の来店が少なく、緊急事態宣言のエリアでないのにも関わらず、新型コロナクラスター発生などを機に、自粛ムードが強い。
#WeLove 山陰キャンペーンの効果もあり宿泊客は戻ってきている。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、GoTo トラベルは動かず、GoTo 商店街事業も動かず、どうしたら活気が戻せるか、商店街で意見を出し合っている。何か手を打たなければ商店街は衰退するばかりである。これから迎える「土曜夜市」、「打吹天女伝説祭り」、「みつぼし踊り」をどう展開するのか課題が多い。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、緊急事態宣言の影響もあり、各種イベントもほとんど中止となり大型連休中の来街者は極端に減少した。新型コロナワクチン接種の浸透、拡大に期待するしか術がない。

境港市の水産物小売は、平日の売上は低調で、仕入れと人件費を考慮して休業する店舗もある。昨年の同時期は、緊急事態宣言下で全店舗休業していたため、前年同月比で売上高が大幅減であることは言うまでもない。また4月25日から3度目の緊急事態宣言が大阪・兵庫にも発令されたことにより、関西方面からの来客は引き続き伸び悩んでいる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、コロナ禍により例年より観光客は減少傾向で推移、更に緊急事態宣言により、大型連休は低調であった。売上高は前月比で減少、前年同月比は前年がコロナ禍で8割減であったため増加した。

米子市のホテル・旅館では、大型連休により売上高は増加したが、収益状況は悪化した。前年同月比では、昨年は全旅館とも休館であったことから売上高は増加、収益状況も好転している。
#WeLove 山陰キャンペーンにより業況は辛うじて維持しているが、緊急事態宣言発出もあり月間稼働状況は70%程度で厳しい状況が続いている。

三朝温泉では、首都圏での緊急事態宣言の影響もあり売上高は前月比で減少、前年同月比では増加。

大山では、コロナ禍により宿泊客は減少傾向。登山客はあるが、団体客はない。

【自動車整備業】

⇒ 新車販売の前年同月比は普通乗用車約27%、軽乗用車約103%、普通貨物車約20%、軽貨物車約18%、全体では約45%の増加となったが、対前月比は全体で約17%の減少。継続検査を含む中古車の前年同月比の実績は、普通車約6%、軽自動車約12%の増加であるが、対前月比は約34%の減少。

【建設業】

⇒ 4月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額95億円(前年同月比52%減)、件数195件(前年同月比22%減)で、前年の大型工事による反動もあり、いずれも大幅に減少となった。設備投資では単月で上振れ、3カ月平均は16カ月振りの前年比プラス。住宅建設は単月で上振れるもマイナス基調は継続している。防災・減災工事などの土木工事を中心とした公共工事が底堅く推移する一方、民間工事の低迷や輸入木材・鉄鋼などの資材価格上昇の影響が続いている。

4月の鳥取県新設住宅着工戸数は181戸(持家142戸、貸家39戸)で、前月比34%減少、前年同月比18%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業などで生産調整もあり出荷量は低調な動きとなっており荷物不足から厳しい状況。復路荷物も慢性的な荷物不足から空車で運行も多い。売上高は、前月比で減少、前年同月比で不変。燃料価格が値上がりし、収益状況は厳しい。

西部地区⇒ 大型連休需要の反動と稼働日数が少ないため輸送量は減少、例年はその後回復し、月末にかけて増加するのだが、今年はコロナ禍により、往路復路ともに低調に推移した。半導体やiPhoneを世界に供給する台湾で56年ぶりの干ばつや電力不足、人手不足が襲っており半導体の供給不足が産業に与える影響は大きい。原油価格は相変わらずの高値安定を続けている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国内生産へのサプライチェーンの変換を一部ではなくあらゆる分野で、国、地方が一体となって行動する必要がある。【ニット製品製造業】
- ・国土強靱化推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・外国人技能実習生等の活用を政府は推進しているがマッチングを強化する必要がある。都会から地方へ、サービス業から製造業へ、介護を希望する外国人が増加している試験のハードルを引き下げたが問題が発生することは明らかで懸念している。【電子部品製造業】
- ・6月以降、融資の返済がスタートする企業もあり、猶予が必要。【商店街】
- ・観光関連への需要喚起策や規模に応じた支援金の給付を要望。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売上高	製造業	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	-31.5	47.4
	非製造業	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	-10.5	42.1
	全業種	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	-21.1	44.7
在庫数量	製造業	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	5.3	21.1
	非製造業	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3
	全業種	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1
販売価格	製造業	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	10.5	21.0
	非製造業	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	36.8
	全業種	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	10.6	29.0
取引条件	製造業	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	10.5	15.8
	非製造業	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	15.8
	全業種	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	2.7	15.9
収益状況	製造業	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	41.1
	非製造業	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	15.8
	全業種	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	29.0
資金繰り	製造業	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	-10.5	15.8
	非製造業	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	5.3
	全業種	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	10.5
設備操業度	製造業	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	26.3
雇用人員	製造業	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	-5.2	5.3
	非製造業	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	21.1
	全業種	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	13.2
景況	製造業	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	42.0
	非製造業	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	26.3
	全業種	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	34.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売 上 高	製 造 業	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	94.7
	非製造業	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	10.6	73.7
	全 業 種	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	7.9	84.2
在庫数量	製 造 業	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	10.5	26.3
	非製造業	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	16.7
	全 業 種	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	0.0	22.6
販売価格	製 造 業	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	5.2	26.3
	非製造業	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	10.5
	全 業 種	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	18.3
取引条件	製 造 業	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	10.5	21.0
	非製造業	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	26.3
	全 業 種	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	0.0	23.7
収益状況	製 造 業	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	68.5
	非製造業	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	68.4
	全 業 種	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	68.4
資金繰り	製 造 業	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	21.1
	非製造業	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	36.9
	全 業 種	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	55.0
設備操業度	製 造 業	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	42.1
雇用人員	製 造 業	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	10.5	36.8
	非製造業	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	47.3
	全 業 種	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	26.3
景 況	製 造 業	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	68.4
	非製造業	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	63.1
	全 業 種	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	65.8

情報連絡員報告総括表（令和3年5月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	1	0	1	2	0	2	1	0	3	0	0	2	1	
	木材・木製品	0	3	1	0	3	1	1	3	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	1	3	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
業	鉄鋼・金属	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	
	一般機器	1	0	2	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	2		
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1		
	輸送用機器																											
	その他																											
非製造業	卸売業	19	1	11	7	3	14	2	17	0	2	17	0	1	14	4	1	15	3	0	16	3	1	16	2	2	13	
	小売業	100%	5.3%	57.9%	36.8%	15.8%	73.7%	10.5%	10.5%	89.5%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	68.4%	21.1%	
	商店街	2	3	1	0	5	1	1	5	0	0	6	0	1	3	2	0	6	0				0	6	0	1	3	
	サービス業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	
	建設業	1	0	3	2	1	1	0	3	1	0	3	1	0	1	3	0	1	3				0	3	1	0	1	
	運輸業	1	1	3				1	4	0	0	5	0	0	1	4	0	2	3				0	4	1	0	2	
	その他	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	
業	卸売業	1	0	1				0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1				0	2	0	0	2	
	小売業																											
	その他	19	6	5	8	2	7	2	3	15	1	0	18	1	2	7	10	0	12	7			0	17	2	1	8	
業	卸売業	100%	31.6%	26.3%	42.1%	16.7%	58.3%	16.7%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	36.8%	52.6%	0.0%	63.2%	36.8%			0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	42.1%	52.6%
	小売業	38	7	16	15	5	21	4	5	32	1	2	35	1	3	21	14	1	27	10	0	16	3	1	33	4	3	
業	卸売業	100%	18.4%	42.1%	39.5%	16.1%	67.7%	12.9%	13.2%	84.2%	2.6%	5.3%	92.1%	2.6%	7.9%	55.3%	36.8%	2.6%	71.1%	26.3%	0.0%	84.2%	15.8%	2.6%	86.8%	10.5%	7.9%	55.3%
	小売業																											

情報連絡員報告総括表（令和3年5月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製造業	食料品	0	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1		
	繊維工業	1	1	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1		
	木材・木製品	1	3	0	0	4	0	1	3	0	1	3	0	1	3	0	2	0	0	4	0	1	3	0	0		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0		
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1		
	一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	0	1	0	3	0	0	3	0	2	0	1		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
輸送用機器																											
その他																											
非製造業	卸売業	19	5	10	4	2	17	0	2	16	1	2	17	0	4	10	5	2	12	5	0	17	2	3	11	5	
	小売業	100%	26.3%	52.6%	21.1%	10.5%	89.5%	0.0%	10.5%	84.2%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	21.1%	52.6%	26.3%	0.0%	73.7%	26.3%	10.5%	89.5%	10.5%	15.8%	57.9%	26.3%	
	商店街	1	2	3	0	4	2	1	4	1	0	6	0	1	3	2	0	6	0	0	6	0	1	3	2		
	サービス業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	建設業	2	0	2	2	0	2	0	2	0	3	1	1	1	2	0	2	2	0	2	2	1	1	2			
	運輸業	4	0	1				0	4	1	0	4	1	3	1	1	1	3	1	1	4	0	1	3	1		
	その他	0	0	1				1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0		
		1	1	0				0	1	1	0	2	0	1	0	1	1	1	0	2	0	0	2	0	0		
		9	3	7	2	5	4	2	12	5	0	17	2	6	6	7	1	11	7		1	16	2	3	10	6	
38	100%	47.4%	15.8%	36.8%	16.7%	41.7%	33.3%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	31.6%	31.6%	36.8%	5.3%	57.9%	36.8%		5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	52.6%	31.6%	
	14	13	11	4	22	4	4	28	6	2	34	2	10	16	12	1	25	12	2	12	5	1	33	4	6	21	11
	100%	36.8%	34.2%	28.9%	12.9%	71.0%	12.9%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	26.3%	42.1%	31.6%	2.6%	65.8%	31.6%	10.5%	63.2%	26.3%	2.6%	86.8%	10.5%	15.8%	55.3%